

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
4		始業式 学級開き	1	新学級への願い (1)ーウ	集団生活における目標やきまりを共通理解し、主体的に活動する意欲を育てる。	どんな学級にしたいかを交流し、学級の目指す方向やきまりを確認する。	積極的に発言する姿を価値付け、意見を発表できる雰囲気づくりを大切にする。
			2	組織づくり (1)ーイ	組織の役割を理解し、学級の生活を向上しようと主体的に取り組む態度を育てる。	学級組織の役割に立候補し、役割の決意を述べる。役割を決定し、自分の役割への責任を自覚する。	仲間の励ましを大切にしてい、活動への意欲につながられるようにする。
			3	学習方法の見直し (3)ーア	学習方法を再確認し、自主的・自発的に日常の学習に取り組む態度を育てる。	自主学習ノートの交流をし、自分にあった学習方法を見つける。	様々な方法を提示して、選択肢を広げ、学習意欲をもてるようにする。
5	1期	東京体験学習	4	係活動の充実 (1)ーア	役割を確認し、よりよい生活にするための活動の工夫を考え主体的に取り組もうとする態度を育てる。	役割について個人や班で振り返り、よりよい活動にするための工夫を考え交流する。	自分の役割にどう取り組むと学級に貢献することができているのかを試行錯誤できるようにする。
			5	学級目標づくり (1)ーイ	学級への願いをもとにして、他の生徒の意見を尊重しながら話し合い活動の仕方を理解し、学級への所属感を深める。	学級の願いを再確認し、個人や集団として1年間の目標を考える。話し合い活動を進め、合意形成を図る。	理想とする個と集団の具体的な姿を出し合いながら、自分の意見だけではなく、仲間の意見も踏まえて合意形成する姿を価値づける。
			6	東京体験学習での 目指す姿 (1)ーイ	東京体験学習に向かう心構えを共通理解し、学級集団としての目指す姿を設定し責任ある行動をとろうとする態度を育てる。	東京体験学習において、どのような姿を目指すか考える。意見交流をし、東京体験学習の取り組みについて合意形成を図る。	多中の顔としての姿の具体を出すことで、目標とする姿を明らかにする。最高学年としての生活につながれるようにする。
			7	東京体験学習の振り返り(一期の振り返り) (2)ーア	東京体験学習での成果と課題を見出し、日常生活での解決策を考えて自主的に取り組もうとする態度を育てる。	東京体験学習での振り返りを記述する。個と集団で高まったことを交流し、日常生活へつなげる意識をもつ。	具体的な姿をたくさん出すように働きかけ、多くの仲間のよさを交流できるようにする。
6	2期	生徒会 キャンペーン 前期中間テスト	8	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を高めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。学級のよさを認めあうとともに、これからの課題について交流する。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表する。よさを多く発表し、自分たちの成長を実感できるようにする。
			9	食育 (2)ーオ	給食をもとに、多治見の食文化に触れ、栄養バランスのとれた健康的な生活について理解し実践しようとする態度を育てる。	給食の献立から多治見市の郷土メニューの栄養について考える。栄養バランスについて考え、健康的な食生活について理解する。	成長期の自分にとって、栄養バランスを考えた食事を摂ることが大切であることに気付くよう助言する。
			10	生徒会キャンペーン の振り返り (1)ーウ	学級での生活を振り返り、自主的によりよい生活をしようとする態度を育て、全校への所属感を高める。	生徒会キャンペーン活動の成果と課題を振り返る。キャンペーン活動での高まりを日常活動へつなげる。	全校の一人としてどのように取り組むことができたか、どのように姿が高まったかが視点となるようにする。
		11	進路選択の情報収集 (3)ーウ	進路選択の情報収集の仕方について理解し、主体的に情報を得ようとする態度を育てる。	進路先の情報をどのように得ることができるか交流し、興味のある進路先を調べていくようにする。	今はたくさんの情報が簡単に得ることができることを理解し、率先して情報収集するよう助言する。	
		12	三者懇談	12	体育祭の計画 応援リーダー選出 (1)ーウ	体育祭における最高学年としての役割を理解し、全校のために貢献する態度を育てる。	最高学年としてどんな体育祭にしたいか意見交流する。応援リーダーを選出し、学級承認を行う。
7			13	夏休みの設計 (ネットトラブルの回避) (2)ーエ	ネット社会の現状を知り、安全に使いこなすための方法について理解し、責任ある行動をとろうとする態度を育てる。	ネット社会における現状について理解する。よさやトラブルについて理解し、どのように使いこなすか考え意見交流する。	これからの時代では必要になってくるスキルであることと理解した上で、ネット社会が開かれたものであることを理解する。
			14	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を高めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。学級のよさを認めあうとともに、これからの課題について交流する。	学級力アンケートの結果から気付いたことをたくさん発表する。よさを多く発表し、自分たちの成長を実感できるようにする。
9	3期	前期期末テスト 体育祭	15	体育祭の取組 (1)ーウ	異学年集団の中で3年生としての目指す姿を共通理解し、学校での所属感を高めようとする態度を育てる。	体育祭の取組の中で、最高学年として大切にしたいことを交流する。練習の仕方や約束について交流し、学級としての意見を合意形成する。	現状を正しく把握し、リーダーとしての立場、フォロワーとしての立場から意見を交流できるように工夫する。
			16	後期生徒会選挙に 向けて (1)ーウ	最高学年の一人として、よりよい学校生活にしていこうとする意欲を育てる。	立候補者の公約を聞く。立候補する仲間に対して、激励の言葉をかけるとともに、個としてのよりよい生活について考える。	立候補者だけが努力するのではなく、自分も生徒会の一員としてよりよい学校生活を築き上げるという意識をもつようにする。
		後期 まとめの活動	17	体育祭の振り返り (2)ーア	個と集団の成果と課題を振り返り、日常生活へつなげるよう意欲を育てる。	頑張っていた個の姿や集団の姿を交流する。学級集団としてどんなよさがあり、どう日常に返していくかを考え交流する。	個として、集団としての成長をそれぞれ振り返る。学級目標と照らし合わせ、目標に近づいた姿を明らかにしていく。
			18	後期組織づくり (1)ーイ	役割を確認し、よりよい生活にするための活動の工夫を考え主体的に取り組もうとする態度を育てる。	後期に担う役割に対してどう努力するかを発表する。仲間の発言に対して、激励の言葉をかける。	決意をしっかりと語らせるとともに、仲間の励ましを活動への意欲につながれるようにする。

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
10	3期	後期の動きだし	19	合唱祭の計画 (1)ーウ	合唱祭に向けての見通しをもち、仲間と協力して取り組む態度を育てる。	最高学年としてどのような合唱祭にしたいか願いを交流する。意見交流から学級のスローガンを決める。	最高学年としての具体的な理想像を共有する。学級目標と照らし合わせた合唱祭の目標をもてるように助言する。
		学級文化活動	20	前期のまとめ (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を高めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。前回と比較する活動を通して、学級としての高まりを認めあう。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表する。よさを多く発表し、自分たちの成長を実感できるようにする。
		三者懇談	21	後期の見通し 役割分担 (1)ーイ	後期の活動を見通し、卒業に向けて学級の生活を向上させていこうとする態度を育てる。	後期の活動を見通す。それぞれの期でどのような姿を目指していくかを考え交流する。	卒業に向けての目数を提示し、見通しをもつようにする。
		合唱祭に向けて	22	合唱祭の取組 中間振り返り (1)ーア	合唱祭の取組を振り返り意見交流をすることで、仲間のよさを認め意欲的に取り組む態度を育てる。	合唱祭の取組を通して気付いた学級の姿を振り返る。残りの取組で大切にしたいことを考え交流する。	仲間のよい姿を交流し、自己肯定感を高める。目標の姿と取組の姿を比較し課題を明らかにする。
11	4期	後期中間テスト	23	係活動の充実 (1)ーア	学級の生活をよりよくするために諸活動の工夫を考え実践につなげようとする態度を育てる。	自分や班の役割についてこれまでの生活を振り返る。さらにより生活にするためにどのような工夫ができるか考え交流する。	自分の役割にどう取り組むことで学級に貢献することができるのかを試行錯誤できるようにする。
		合唱祭	24	男女相互の 理解と協力 (2)ーイ	集団生活において異性を互いに尊重し合い、共に生きる社会について理解を深める。	男女共同参画社会を実現させる5本の柱を理解する。一人一人がより充実した生活を送るための工夫を考える。	だれもが充実した生活を送る社会にするためにはという視点を出し、身近な課題として考えていくことができるよう助言する。
			25	進路講話 (3)ーウ	進路講話を通して、学ぶことの意義や、これから生き方について考えを深めようとする態度を育てる。	進路講話を聞く。残りの学校生活で何を大切にしていこうか考える。	求められている姿に近づかために、どのように努力していくのかを考えるように助言する。
			26	自分の夢と能力 (3)ーイ	自分の能力と進路希望を照らし合わせ、これからの自分の生き方について考えを深める。	希望の進路に必要な能力と今の能力を照らし合わせ、どのような能力を伸ばす必要があるか考える。	必要な能力をどのように伸ばしていくか前向きにとらえることができるように助言する。
12	三者懇談		27	合唱祭の振り返り (2)ーア	合唱祭の取組を通してつけた学級集団の力を振り返り、協力して日常生活を送る態度を育てる。	頑張っていた個の姿や集団の姿を交流する。学級集団としてどのようなよさがあり、どう日常に返していくかを考え交流する。	個として、集団としての成長をそれぞれ振り返る。学級目標と照らし合わせ、目標に近づいた姿を明らかにしていく。
			28	性感染症の予防 (2)ーウ	性感染症に関わる正しい知識を身に付け、健康的な生活を送ることの大切さを理解しようとする態度を育てる。	性感染症とはどのようなものかを理解する。健康的な生活を送るためにはどのようなことが必要かを考え交流する。	正しい知識を理解するとともに、予防をするためには自己の行動に責任を持つことが大切であることを助言する。
			29	後期前半の振り返り (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を高めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。前回と比較する活動を通して、学級としての高まりを認めあう。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表する。仲間のよさを多く発表し、自分達の成長を実感できるようにする。
1	生徒会 キャンペーン	後期期末テスト	30	後期後半の見通し 新年の抱負 (2)ーア	発表した目標のよさを互いに認め合いながら、意欲的に生活しようとする態度を育てる。	新年の抱負をそれぞれが発表する。発表した仲間に対して班の中でアドバイスをする。	堂々とした姿で自分の抱負を語るように助言する。
			31	将来へ向かって (3)ーウ	進路設計を交流し、仲間の進路設計を認めあうとともに、自信をもってひとり立ちしようとする意欲を立てる。	進路設計を発表する。仲間の進路設計について、よさを認めあったり、悩みに対する解決策を交流したりする。	なぜそのような進路設計を描いたのかを語れるように。自信をもてるような言葉かけをするよう助言する。
			32	文化継承の会に向けて (1)ーウ	これまでの生活を振り返り、最上級生として築いた文化は何かを話し合い、学級の所属感を深める。	学級の文化として何を後輩に伝えたいか交流するとともに、自分たちの姿を見直す。	学級力アンケートや行事の振り返りを参考にしながら、集団としてのよさを再確認する。
2	5期	文化継承の会	33	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1)ーア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を高めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。1年を通しての結果を比較し、学級としての高まりを共通理解する。	学級力アンケートの結果から気付いたことを発表する。よさを多く発表し、自分たちの成長を実感できるようにする。
		巢立ち活動	34	巢立ち活動に向けて (1)ーウ	最高学年としての責任を自覚し、感謝の気持ちをこめて清掃活動に取り組もうとする態度を育てる。	巢立ち活動に対する理念を共通理解する。具体的な清掃分担や作業を検討する。	大切なことは感謝を伝えることであり、活動は手段のひとつであることを共通理解させる。
			35	ポートフォリオの作成 (2)ーア	これまでの姿を振り返り、これからの自己の生き方について考え実践しようとする態度を育てる。	1年間の自分の成長とさらに伸ばしたい能力についてまとめる。班で交流し、仲間からのアドバイスを受ける。	仲間を肯定的な視点で見ることを大切に。アドバイスから一人一人がさらなる工夫点を考えられるように助言する。
3	卒業式	36	1年間のまとめ (2)ーア	学級の高まりを話し合う活動を通して、学級の所属感や連帯感を確かめあう態度を育てる。	1年間を通しての学級の高まりを理解する。仲間や集団のよさを認めあい、思いを共有する。	学級力アンケートをもとにして、高まりを視覚的にとらえることができるようにする。	